

第22期第6回 佐賀県内水面漁場管理委員会 議事概要

- 1 日 時 令和8年1月28日(水) 10時30分～
- 2 場 所 佐賀市城内1丁目1番59号
佐賀県庁新館10階 農林水産部内会議室(中央南)
- 3 出席者 佐賀県内水面漁場管理委員会
- | | |
|---------|---------|
| 会 長 | 柴 山 雅 洋 |
| 会長職務代理者 | 中 村 さやか |
| 委 員 | 犬 塚 加代子 |
| 〃 | 森 田 忠 光 |
| 〃 | 草 野 剛 |
| 〃 | 今 川 一 洋 |
- 4 臨 席 者 佐賀県海区漁業調整委員会事務局
- | | |
|---------|-------|
| 事 務 局 長 | 荒 卷 裕 |
|---------|-------|
- 佐賀県農林水産部水産課漁業調整担当
- | | |
|-----|---------|
| 係 長 | 伊 藤 毅 史 |
| 主 事 | 江 頭 千 優 |
- 5 議題及び議決事項
- (1) 第5種共同漁業権にかかる令和8年度増殖目標量(案)について(協議)
⇒原案どおり承認された。
 - (2) 第5種共同漁業権に係る「資源管理の状況等の報告」について(報告)
⇒原案どおり承認された。
 - (3) 令和8年度えつ流し刺網による採捕許可方針(案)について(諮問)
⇒原案どおり承認された。
 - (4) えつ資源回復方策に関する取組状況について(報告)
⇒原案どおり承認された。

(5) その他

⇒内水面漁協設立時・設立後の課題について、内水面振興協議会の権利と義務について、唐津市管内における「やな」の新規許可希望者数について、塩田川における「建網」の新規許可希望者数について、長崎県内水面漁場管理委員会による水産動物採捕に関する承認件数について事務局から説明が行われた。

6 議事概要

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者 議題1 江頭主事

議題2 江頭主事・伊藤係長

議題3 江頭主事

議題4 伊藤係長

(2) 質疑応答

【議題(1)について】

(委員) テナガエビの入手は来年度も難しいのか。

(事務局) 調べてみます。テナガエビの放流種苗の確保が難しいというのであれば、テナガエビの増殖に資する河川環境の整備等を提案する。

(委員) テナガエビの代わりにウナギを放流してよいのか。

(事務局) 事務局案を整理する。

(委員) 魚種は各漁協が指定しているのか。

(事務局) 漁業権対象種が内水面漁協ごとに定められていて、定められている魚種に対して、増殖の義務が課せられている。

【議題(2)について】

(委員) 資源管理状況等の報告について議論する時期を早められないか。

(事務局) 来年度から例年の1回前の委員会で報告するよう検討する。

(委員) 放流をしていない漁協の組合長に免許取り消しになる可能性を伝えてほしい。

(事務局) 増殖義務や放流の必要性について伝える。

(委員) 生物名のひらがな表記とカタカナ表記の違いは何か。

(事務局) 学術的な議論の場ではカタカナ記載であるので。確認する。

【議題（3）について】

(委員) 今漁期の獲れ具合はどうか。

(事務局) 不漁。福岡県も不漁。コロナ以降減っている。

(委員) どの辺が一番獲れるのか。

(事務局) 時期によるが、漁期の始め5月1日から漁解禁で、期間の早めのときは大川橋とか諸富橋など比較的下流の方、漁期が進むにつれてどんどん産卵遡上群が上流に上に行くと、鐘ヶ江大橋付近とか、青木大橋とかで獲れる。

【議題（3）について】

(委員) 資料からあんこう網だけがえつを減らしている原因にはならないってことを主張することができそうか。

(事務局) えつの河川における流し刺網のCPUEがまだ高かった頃と急激に減った平成14年ごろからすると、もう今のあんこう網の河口域における漁獲圧というのはもう20%になっているので、説明材料の1つになると思っている。

(委員) 佐賀県側は何が原因でえつの漁獲量が減少し始めたと考えるか。

(事務局) 難しいが、あんこう網以外でも産卵親魚も採捕しているので総合的に見ていかないといけない。